

世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「スペイン」&「ポルトガル」編 (2007)

日本とヨーロッパの貿易の起源は、1543年、鹿児島県の種子島にポルトガル人の乗船する中国船が漂着し、火縄銃（マッチロック式の点火銃）3丁を輸出したのが始まりだ。この出来事がヨーロッパとの出会いだ。1543年のヨーロッパといえば、ポーランド人のニコラウス・コペルニクスが「天球の回転について」を発表するなど、『大航海時代』の真只中だ。この時代の主役は、イベリア半島の **スペイン** と **ポルトガル** だ。日本といえば、戦国時代の真只中だ。1575年6月、織田信長・徳川家康連合軍が3000丁の火縄銃を使い、武田勝頼を敗北させ、安土・桃山、江戸時代へと繋がった。JOは今は『大航海時代』真只中だ。今回は、イベリア半島に向かおう！



関西空港からオランダのアムステルダムを經由(12時間)し、**スペイン**の**バルセロナ・プラット空港**(2時間)へ到着。スペインは、**17の自治州**から形成された**王国**(面積:504,782Km², 人口:約**4320万人**)だ。ユネスコの世界遺産の宝庫だ。今回のテーマは、**‘イメージ’**と**‘インスパイア’**である。**“情熱の国”**と聞いて連想する国の筆頭はスペインである。その情熱は、文明支配の変遷からカトリックとイスラム文明の対立、そして、両文明の融合により点火された稀有な国の歴史による力である。通常、キリスト教国は、カテドラルに統一された文化を継承し、イスラム教国は、モスク(スペインではメスキータと呼ぶ)に統一されたイスラム文化が政治・経済・社会様式、法律までもが統一される。しかし、**“情熱の国”**では、2つの文明が見事に共存し寛容な自治が行われている。その寛容さに流れ者の**ジプシー**(ジプシーの起源はインドである)は、フラメンコの踊り・歌・音楽に感謝の意を込めて捧げているのではないか。スペインのワインやオリーブには何故かフランスやイタリア産には無い、強くたくましい香りを感じるのは私だけではない筈だ。





バルセロナ（約 160 万人）の観光メイン、金物細工師の子 **アントニ・ガウディ・イ・コルネット** が大きく関わった **世界遺産のグエル公園**、未だに完成しない **サグラダ・ファミリア聖堂** などを観光し、オレンジで有名なバレンシア、そして、アンダルシア州のグラナダ・コルドバを経てフラメンコの本場セビージャへ。





地中海沿岸を東から西へ風車の風を背中に受け、 **ドンキホーテ** の如くゆったりと流れ、スペインとはひとまず **アディオス!**



明日は、陸路、 **ポルトガル** の **首都リスボン** へ **世界遺産エヴォラ歴史地区** を観光した後向かおう！



ポルトガルの空は、正に **ターコイズブルー** の代名詞がピッタリだ。

ここで、シンプルに 『**トルコ石**』 を説明しよう。

正式名を **TURQUOISE** （日本名：**トルコ石**，化学成分： $\text{CuAl}_6(\text{PO}_4)_4(\text{OH})_8 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ ，宝石言葉：**成功・権力・友愛**，**12月の誕生石**）と呼び、モース硬度（押し込み強度）は、**5~6** である。名前の由来は、**ペルシャ**（現在の**イラン**）で採れたこの石がトルコ商人によりヨーロッパへと広がったため。（実際は**トルコ**では採掘されない）トルコ石は、**世界最古の宝**

石の一つで、ラピスラズリと同様に黄金色に合うために、金製の財宝や装身具にあしらわれて、数千年前愛されてきた。



纏わる 物語 としては、トルコ石は、《最愛の人の危険や不貞をその色の
変化で知らせると信じられ、古来より珍重された》 また、この石の着用者に
「勇気と幸運」 そして、「繁栄を与える石」として有名である。



ボン・ディア と響きの良い挨拶を受け、穏やかで端正な街を過ごす。ポルトガル（面積：92,391Km²、人口：約 1050 万人）は、ヨーロッパの最西端に位置する小さな国だ。（日本の 1/10）この国から、鉄砲が伝えられたとは本当に驚きだ。リスボン内の人口は約 80 万人、郊外を含めた大リスボンは約 300 万人と言われている。現在、斜陽国のレッテルから抜け出そうと懸命だ。



さて、**スタッフの育成プログラム** が私の頭には複層的に存在する。

《1. 指示 → 2. 説明 → 3. 委任 → 4. 昇進・昇給 → (ネクストステージでの) 5. 指示 → 6. 説明 → 7. 委任 → 8. 昇進・昇給……》

のサイクルである。

まずは、1.（新入社員・熟練社員を問わず）**仕事の指示をする**。指示通りに仕事を完遂した者に対して、

2. 初めてその**仕事の意義や目的などの詳細を説明する**。そして、説明を理解した者に対して、

3. **仕事を任せる**。期待通りの仕事ができるようになれば、

4. **昇進・昇給** をして頂く。（昇進の）結果、

新しい仕事（ステージ）になっても、5. は、1. を 6. は 2. を、同じように 7. は 3. を 8. は 4. を繰り返す。

すると自然に、**暗黙知** である社風や企業文化などが **形式知** として伝わるようになるのだ。（**暗黙知**を**形式知**として伝えるのも**リーダーの仕事**だ）



今回のテーマである ‘イメージ’ とは、ステージを用意する為のイベントや新商品開発・新店舗計画の ‘イメージ’ を造る為の旅だ。熟慮した結果、「貿易の起源」を訪れたのが真相だ。楽しみにしていた **ファド** (運命の意) をリスボン随一の **SANTANA** で堪能しよう。



ファドは、シャンソンやブルースなどと同じように人間の

「喜」 「怒」 「哀」 「楽」

を表現する哀愁歌と評されるが、私は「喜」「楽」しか感じ取れないラテン系大阪人だ。店内は、ブラジル人・フランス人・イギリス人とももちろん地元のポルトガル人、サッカーのワールドカップ強豪国の連中ばかりだ。アジア代表として大いに各色ワインを飲み、テnderロインステーキ・ロブスターを食した。陽気な連中と出会い、ファドの音楽がカーニバル音楽へと時間と共に移り変わ

った。



余談だが、ポルトガル語は、実にファドソングにマッチする。オリーブとヴァージンオイルの様にとても甘く、そして、格調高い旋律を築き上げる。

酔いが残った翌日、**発見のモニュメント** を眺め、今旅行最大の目的の一つ、ユーラシア大陸最西端の **Cabo da Roca** (ロカ岬) へ向かった。大西洋を挟んで北米大陸が存在すると思うと、想いは **坂本龍馬** だ。





私と同じ名の一字を持つ龍馬は、土佐から太平洋の彼方に想いを馳せた。桂浜に立った時のそれより、この岬からの風景を体感した時、彼の想いの一つが理解出来た様な気がする。ポルトガルの英雄で『大航海時代』の先駆者、エンリケ航海王子（ペッパーキングの第4王子）も同じ想いだっただろう。デジタル時代から過去の品物として扱われるアナログ品は、デジタル品からは得られない貴重なトリロジー（過去・現在・未来）タイムスパンの高い志と熱い想いを私に与えてくれた。JOのホスピタリティーも最終的には、真の笑顔や心からのおもてなしがテーマとなる。高価な家具や什器などはあくまで上記の為のツールにしか過ぎない。（デジタル語を使用するとやはり何か掛ける）満足感と幸福感に浸った次ぎは、建国の地、ポルトでビンテージワイン三昧をした後、スペインの首都、マドリードへ向かおう。





ブエノス・ディアスの挨拶が再び聞こえる。マドリード（約300万人）では、プラド美術館でアダムとイヴに謁見し、ソフィア王妃芸術センターでピカソのゲルニカを堪能した。



余談だが、LOEWE 本店は超一流ブランドとは呼べないホスピタリティーだった。また、初めて KLM 航空を利用したが、バルセロナやマドリードのスリ同様避けたい世界最低水準のサービスだ。今回のイベリア半島の旅は、2週間の短い期間と12年振りの窮屈な思いを敢えて実践した。初心は戻っても体力は戻らないとつくづく感じた。



今回のテーマ ‘インスパイアー’ は、旅を終えて実感した。『効率』
と思っていることが、『非効率』で、『非効率』とっていたことが
実は、『効率』である。しばしば 体感 することだ。

メールでのメッセージの送信は、なるほど、迅速で便利だ。筆を持って書く手紙は、手間も時間も掛かり迅速とは程遠い。また、切手を選ぶ時の配慮や季節感は便利さと程遠い。しかし、時間と手間の掛かる筆手紙の方が気持ちはより伝わるのではないか。相手に大事なメッセージを伝える時に、心から伝わるのは後者である。イベリア半島の旅を終え、強くその思いがする。さて、ドンキホーテ の様に岡村の無謀な夢への挑戦は果てしなく続く。13 回目のクリスマスフェアには、今回の ‘イメージ’ と ‘インスパイアー’ の成果を存分に発揮しよう！